

全日本博士協会の皆さんは、留学を通じて、さまざまな形で、日中友好の活動を行い、きっと皆さん心中の平和がいつか地球上に訪れるでしょう。当時札幌農学校と呼ばれた北海道大学の初代教頭として就任しましたクラーク博士が残された言葉は「Boys, be ambitious.」（「少年よ大志を抱け」）があります。今の大志は「平和」と言っても過言ではないでしょう。平和のため、日本での勉強と生活を送り、卒業後も日中友好と世界平和の「大志」を忘れないで、8月終戦の月の編集者の言葉を送ります。

以上の内容をもってメルマガ70号を会員の皆様にお届けします。時間があるときにごゆっくり読んで頂ければ、と思います。

メルマガに対してご意見・ご要望があれば、ぜひともご連絡いただき、今後の編集に生かしたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

■ 記念专集

Stop！ 戦争法案和安倍政权

编写战败70年市民讲话



2015年7月23日晚上，在北海道札幌市市内的会议大厅，250余名札幌市市民参加了「编写战败70年市民讲话」实行委员会组织的【Stop！战争法案和安倍政权】市民集会。数家电视台前来采访录像。

元众议院议员竹村泰子作为发起人致辞并介绍了今天大会的日本政治背景。元每日新闻政治部记者西山太吉作了「Stop！战争法案和安倍政权～我们的过去和未来～编写战败70年市民讲话」的90分钟演讲。以新闻记者的亲身经历，用事实为参会者讲述了战后70年的国家参与的各种事件的经过。告诫大家不能忘记历史。

大会后，发表了「战败70年市民讲话」。市民们用行动和文字，倾诉了日本人们希望和平的美好愿望。

附「战败70年市民讲话～来自北国大地」全文。

「战败70年市民讲话～来自北国大地」

从亚洲·太平洋战争的战败至今已经有70年。一般认为在亚洲各国共有2000万人成为了那场战争的牺牲者，那场战争真的结束了吗？以殖民地控制台湾和朝鲜作为跳板，进而开始向中国和亚洲各国侵略，最后发展到与联合军战争的太平洋战争。在亚洲各地，日本执行枪光、烧光、杀光的三光作战，最后在广岛，长崎遭遇“原子弹核爆”，1945年8月15日接受波茨坦宣言，终结了那场战争。

就在北海道也能看到多个战争的阴影。用从朝鲜和中国强制抓来的劳工在煤矿和工厂，军事设施强行干苦役的数十万的人们。函馆、钏路、室兰等的北海道大空袭。包括很多原住民族阿伊努族的人们在内的北海道人民战死在冲绳战里。战争诱发战争，除了毫无道理的屠杀和破坏以外什么也没有。只剩下遗憾的感情长眠于北方大地的人们心中，遗族们的内心深处埋下了悲伤的种子，想到为战争牺牲的所有人员，我们无言而语。

日本宪法明文写道：「为了不再发起以国权为由的战争惨祸」「永远放弃以国权发动的战争、武力威胁或武力行使作为解决国际争端的手段」。这是国民自己的对战争的反省和希望和平的决心的同时，也是对亚洲各国，世界各国的国际公约。在这70年，从提供朝鲜战争特别需要引发的经济复活，支持朝鲜半岛的分割，越南战争中从冲绳出击的美军，该清算的过去的问题还未解决之时，日本作为和平国家无法说没有一点的错误，倒应该讲是犯了许多错误的年代。从那个意义来讲战争至今没结束。尽管如此70年，没有改变宪法，也没有挑起战争。通过学习这一历史，宪法9条是实现和平人们的内心愿望的中流砥柱。

1995年发表的「战后50年村山首相讲话」添加了以「在国策上犯错误，殖民地支配和侵略让亚洲各国蒙受了巨大的损失和痛苦」而谢罪，尽力和平和国际协调的不战的誓约。

尽管如此，至今，仍有不承认侵略和殖民地支配的历史的修正主义的大手在挥舞。强制抓来的劳工们、军队的「安慰妇」、南京大屠杀、731石井部队的人体实验·····以「解放亚

洲圣战」为名所致战争中的无数的屠杀和人权蹂躏的政治势力，现在在被指有违反宪法的以集体自卫权使用作为目的战争法案，在大多数人反对之下，仍然在向成立推移。战争的最大牺牲者，是孩子·女性·有残疾的人们。无视弱者、幼小者和生命的政治，敌视近邻国家，容忍街头发布仇恨言论的行为均与现政府相关联。

今年夏天安倍首相打算发表不放入侵略，殖民地支配和道歉的文字，非内阁会议决定的「个人70年讲话」。这个姿势象征如同战争法案强制表决时一样，与日本宪法的和平主义方向转换180度，让日本回到再次可以战争的国家，那是绝对不能容忍的。

在这样的状况面前，如果保持沉默不语，我们认为这样会促进日本再次走向战争之道。

战争经验者的老龄化，记忆的风化无法防止，不过，我们还有让亚洲各国受到巨大损害和痛苦的日本人的后裔会将此铭记在心。既是有最惨痛经验的战争受害者，另一方面，又是支持推动战争国策的加害者。对于过去，至今活着的人们，谁都不能避除对历史的责任。

我们，拒绝再成为受害者和成为加害者。为此决心继承和发展「村山讲话」，构筑作为亚洲中的日本的和解和共生的社会，把接力棒交接到下一代。

我们要从地球上永恒地消除专制和隶属、压迫和偏狭，树立拥有国际社会名誉和地位。

我们，为了达到这个崇高的理想和目的，在和平时期内行使生存的权利，在战败第70年的今天，这个北国大地上宏亮地宣言。

2015年7月23

「编写战败70年市民讲话」实行委员会全体同仁

翻译：北海道中国会

附日本語原文

「敗戦70年市民談話～北の大地から」

アジア・太平洋戦争の敗戦から今年で70年になりました。

アジア諸国で2000万人が犠牲になったといわれている、あの戦争は本当に終わったのでしょうか。台湾、朝鮮を植民地支配したことを踏み台として中国を始めアジア各国を侵略し、連合軍との戦争にまで進展した太平洋戦争。各地で、奪い尽くし、焼き尽くし、殺し尽くし、いわゆる三光作戦を展開した日本。広島、長崎の“原爆”を経て1945年8月15日ポツダム宣言を受け入れ戦争は終結しました。

ここ北海道だけでも戦争の影をいくつも見出すことができます。朝鮮や中国から強制的に連行され、炭鉱や工場、軍事施設で働かされた十数万人の人々。函館、釧路、室蘭などへの北

海道大空襲。先住民族アイヌの人々を含む多くの道民が戦死した沖縄戦。戦争は戦争を産み、途方もない殺戮と破壊しかもたらしませんでした。無念の想いを残したまま北の大地に眠っている人々、胸の奥深く悲しみをしまい込んで生きてきた遺族たち、犠牲になられた内外のすべての方々に想いを馳せる時、私たちは言葉を失います。

日本国憲法は「政府の行為によってふたたび戦争の惨禍が起こることのないやうに」「国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する」とうたっています。これは国民自身の戦争への反省と平和への希求の決意であると共に、アジア各国、世界各国への国際公約でもありました。この70年間、朝鮮戦争特需による経済復活や、朝鮮半島の分断への加担、沖縄からベトナム戦争への米軍の出兵、過去の清算問題が未解決であることなど、日本が平和国家として一点の誤りもなかったとは言えません。むしろ数々の過ちも犯してきた70年間の歩みでした。その意味でも戦争は未だ終わっていないのです。それでも70年間、憲法を変えることなく、戦争を仕掛けることもなかった。これは歴史から学び、憲法9条を実現しようとする人々の願いが底流としてあったからです。

1995年に出された「戦後50年村山首相談話」は「国策を誤り、とりわけアジア諸国に多大の損害と苦痛を与えた植民地支配と侵略」を謝罪し、平和と国際協調に尽力することを盛り込んだ不戦の誓いでありました。

にもかかわらず、今、侵略や植民地支配を認めない歴史修正主義が大手をふるっています。強制連行、軍隊「慰安婦」、南京虐殺、731石井部隊による人体実験・・・戦争中の数々の殺戮や人権蹂躪を「アジアの解放の聖戦」だったとする政治勢力が、多くの人々が反対し憲法違反が指摘されている、集団的自衛権行使を目的とした戦争法案の成立にまい進しています。戦争の最大の犠牲者は、子ども・女性・障がいのある人々です。弱き者、小さき者、いのちを大切にしない政治は、近隣の国を敵視し、ヘイトスピーチの容認を容認する動きに今の政権に連なっています。

安倍首相は、侵略、植民地支配や謝罪の文言を入れず、閣議決定しない「個人の70年談話」を公表しようとしています。この姿勢は戦争法案の強行採決に象徴されるように日本国憲法の平和主義を180度転換し、日本を再び戦争する国へ向かわせることに他なりません。

このような状況を目の当たりにし、黙して語らないことは、再び、戦争への道に加担することです。

戦争体験者の高齢化、記憶の風化は防ぐべくありませんが、私たちは、アジア諸国に多大な迷惑をかけた日本人の末裔であることを心に刻みます。最も悲惨な経験をした戦争の被害者は、一方では、戦争を進める国策を支持した加害者でもあったのです。過去に、今に、生きる誰もが歴史に対する責任から免れることはできません。

私たちは、二度と被害者になることも加害者になることも拒否します。そのためにも村山首相談話を継承発展させ、さらにアジアの中の日本として和解と共生の社会を構築し、次世代

へバトンタッチすることを決意しました。

私たちは、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと務めている国際社会において名誉ある地位を占めたいと思います。

私たちは、この崇高な理想と目的を達成し、平和のうちに生存する権利を行使することを、敗戦から70年目の今、この北の大地において高らかに宣言します。

2015年7月23日

「敗戦70年 市民談話を創る」実行委員会一同

~~~~~

## 丹羽宇一郎新任会長が日中友好论坛 in 北海道開講

陶惠榮



8月4日，北海道中国会主办的日中友好论坛 in 北海道在札幌市中心会议大厅举行。近300名北海道政府和市民，日中友好团体代表，华人华侨和留学生代表，参加了日中友好论坛。

在主题演讲前，主办组织北海道中国会代表田义之社长致辞。他首先感谢百忙之中从东京赶来的丹羽宇一郎会长。并介绍了北海道中国会是由中国人和日本人共同组成的北海道日中友好民间团体，开创了在日本的日中友好组织的新形式，促进了中日友好活动的顺利进行。北海道日中友好协会会长青木雅典代表共办组织北海道日中友好协会、(社)北海道日中经济友好协会、札幌大学孔子学院致辞。

日中友好论坛 in 北海道第一部的主题演讲是前日本驻华大使，日本中国友好协会会长的丹羽宇一郎先生。今年76岁的丹羽会长，曾任伊藤忠商事会长，系日本企业名流。丹羽会长在演讲时称，他不是【亲中派】，也不是【厌中派】。每一个日本人都以日本第一为主要思考方式。他也是这样考虑钓鱼岛问题。原来他是中立派，但是近期日本政府有右倾现象，所以他一成不变的行为变成了左派。丹羽会长讲日中关系实际与美中韩关系密切相关。在钓鱼岛(日本称尖阁群岛)问题上，丹羽会长的警告显示了外交家的卓越洞察力、爱国心和勇气。同时，丹羽会长对日本近期面临的二大危机再一次提醒大家。8月15日以前的安倍谈话内容和9月3日二战胜利庆典活动的日本政府的态度及行动。丹羽会长讲日本的首相不存在以个人名义发表谈话，首相以个人身份的怪谈让人费解。二战胜利庆典活动时，世界各国更注目日本对二战的反省态度和行动。这二个危机的成功跨越影响着日本的明天。

为了避免误解，日本在外交谈话和政府时建议同时用日语、英语和中文发表。丹羽会长特别对日本国内的政治和外交问题的处理方法提出来异论。他说也许是岛国情节，日本很多政治家，不顾世界各国的眼光和想法，自圆其说。对违宪问题还可以反复讨论，不可思议。作为外交家，丹羽会长知道国外看重邻国和对方的评论，不会到日本国会来倾听议员们的反对声音。即使日本国内没有发动战争的行为，但是改宪给世界各国的负面信息是不可否认的。

日中友好论坛 in 北海道第二部由札幌大学孔子学院院长张伟雄教授主持。论坛题目是【活化北海道如何与中国相处】。参加论坛的有丹羽会长、北海道中国会代表田义之社长、莫邦富事务所所长，资深评论员兼作者，北海道中国会的特别顾问莫邦富先生、(社)北海道日中经济友好协会会长中田博幸先生。

论坛中各位来宾根据自己的经历和阅历，提出来北海道在农业、旅游业的优势，发展北海道品牌效应，加强人文和经济往来，特别是丹羽会长提出将北海道的高档农牧水产品高价出售给东京等地，不要靠国家的补助金，要发挥北海道的食品自给率日本第一的优势，发展北海道。对仍然高速发展的中国，拿出比中国先进30年的技术，和中国人们平心交流。

日中友好论坛 in 北海道第三部交换名片和自由交流前，本次论坛的执行委员长陶惠荣院长，代表运营委员会，感谢各位嘉宾来到北海道札幌市，参加北海道中国会主办的日本友好论坛。也感谢运营委员的辛勤付出，在短时间里，成功举办了本次日中友好论坛。8月4日，在日本是【桥之日】，各位来宾的精彩演讲和提议，就像一座大桥，将北海道和中国紧密相连，互通有无，共筑了中日民间友好新篇章。

北海道中国会の事務員曹迪给丹羽会长献上了鲜花,感谢新上任的日本中国友好协会会长丹羽宇一郎首场演讲在北海道。也感谢丹羽会长为北海道的发展提出的多道良策妙计。

在会场里,设置了北海道中国会特别顾问莫邦富的新作【新华侨 40 年的履历书 莫谈日本只因有情】推荐和赠发【习近平论国政运营】及日本最大中文报纸【中文导报】服务台。参会者在购买和领取书及报纸后,对中日友好的话题将通过文字不断升温。期待北海道的民间中日交流活动,成为全日本的领头羊,促进中日友好新高潮中日来到。

本次日中友好论坛 in 北海道获得了北海道、札幌市、中華人民共和国驻札幌总领事馆、(公社)北海道观光振兴机构、(公财)札幌国际广场、(公社)北海道国际交流・协力综合中心、JETRO 北海道、北海道武术太极拳联盟、北海道新闻、中文导报社、日本龙之升中文台、日中交流会、莫邦富事务所、(株)财界札幌、中国南方航空、中国东方航空、中国国际航空、NPO 北海道活性化中心 TACTICS 的后援。

日中友好论坛 in 北海道活动还得到了 15 家团体和个人的捐款: CIE 株式会社代表取締役社长田义之; 株式会社住宅企画中心代表取締役会长青木雅典; 财界札幌代表取締役社长舟本秀男; 陶氏診療院・漢方アロマ療養師育成校院长陶惠荣; 白総合法律事務所律师白诺贝; 株式会社 Amino Up 化学代表取締役会长小砂究一代表取締役社长藤井創; 株式会社 ROCKHEART 代表取締役高桥大介; NORTH ISLAND 产业株式会社代表取締役矢部和彦; 大高酵素株式会社代表取締役社长今井政一; (株)百景園顾问山下信行; 北海道大学大学院先端生命科学研究院教授龚剑萍。感谢参会者和捐助者的大力支持。北海道的中日友好活动,在诸位的支持下,一定能欣欣向荣、蒸蒸日上。

=====

■協會共催活動

## 中国留日同学会創立 20 周年記念

第 15 回留日中国人研究成果論文集&優秀論文・成果賞 投稿・募集案内

中国留日同学会創立 20 周年記念実行委員長 周璋生

留学研究成果論文編集委員長 李澤建・張周恩 優秀論文・成果賞選考委員長 周璋生 (名誉委員長 尾池和夫)

### 主旨

中国留日同学会は、お蔭様で今年創立 20 周年を迎えました。創立 20 周年記念行事の一環として第 15 回『留日中国人研究成果論文集』の編集と「成果研究報告会&優秀論文・成果賞授賞式」の開催を計画しております。



『留日中国人研究成果論文集』は、日中友好交流の促進を祈願し、在籍の中国人留学生または日本留学経験者の研究成果を内外に発信し交流する事を目的として、1996年に、『在日中国人留学成果論文集』として創刊され、これまで累計14巻(1996～2000の間毎年、2001より隔年)の論文集を刊行したのです。

当論文集は人文、社会、自然科学、先端医学をはじめ、あらゆる分野に活躍している中国人留日経験者の代表的な研究成果を反映し、数多くの優秀な既刊論文を収録しています。

また、1999年度より「中華人民共和国駐日本大使賞」をはじめ、京阪神地区の知事賞、市長賞、日中友好協会会長賞など優秀論文賞・優秀成果賞を創設・授賞することに至りました。

日中両国の多くの機関や方々のご支援とご協力のお蔭で、長きにわたり、内外とも高く評価される活動となりました。謹んで感謝申し上げますと同時に、奮ってご応募くださいますようご案内申し上げます。

募集分野： あらゆる研究分野

提出物：

既刊物・公開済研究成果

- ・学会発表、雑誌掲載済みの研究成果としての論文、もしくは革新的な特許発明
- ・著作権は応募者が所有するものに限る

応募資格 日本在住の華僑・華人・中国人留学生、留日経験を有する中国人。

原稿提出締切： 2015年8月15日(土)24:00必着

応募方法(問合わせ先)

別紙申込書に所定事項を記入した上、応募論文・論文概要・成果証明と一緒に下記のE-mailまで

添付ファイルにて提出してください。

paper2015@acajapan.org

研究成果論文編集委員長 宛

論文及び論文概要、特許発明概要説明原稿：

使用言語：中国語、日本語、英語

① 論文：図表を含む A4 サイズで 8 枚以内(CD 収録用、但し、編集委員長に特別に認められた場

合、これに限らないとする)

PDF 形式 ( MS\_Word 形式も可) の電子ファイル

② 論文概要：同上 2 枚以内 (概要集に掲載用、タイトルと著者名と所属を含む)

PDF 形式 ( MS\_Word 形式も可) で作成された電子ファイルの原稿

ページ設定：余白 上 30mm, 下、右、左に各 25mm 行間：一行 英文：フォント：Time New Roman 12 ポイント, 日本語：フォント：MS 明朝 10.5 ポイント

中国語：フォント：Mingcho 10.5 ポイント

③ 特許発明概要説明：様式同上、2 枚以内。特許証のコピーも付きください

論文等の採否：

論文等の採否につき、選考委員会による審査の上、2015 年 9 月 30 日 (月) までに応募者本人に知らせます。なお、採用の有無に関わらず、原稿は返却いたしませんので、予めご了承ください。

優秀論文・成果賞の選定方法：

申込時に優秀論文・成果賞を希望する応募者が提出した書類 (論文原稿、論文概要、著者履歴、優秀成果の場合：説明概要と成果証明関連書類) に基づき、各分野の専門家により審査・採点します。

最終、当会の優秀論文・成果選考委員会が総合的に判断して優秀論文・成果賞を決定します。

① 優秀論文賞

申請論文は 2012 年 1 月 1 日以降雑誌等に掲載された査読付論文に限定します。応募する際、関連掲載論文の PDF ファイルも添付して送ってください。また、著者履歴 (含む研究成果) を提出

しなければなりません。なお、優秀論文賞に応募できる論文は原則として一人に 1 点に限ります。

② 優秀成果賞

特許のコピー、経済効果や産業界等への革新的なインパクトを与えた評価を証明できるもののコピー等。応募する際、上記の説明概要の PDF ファイル (MS\_Word も可) の原稿とともに、関連資料の PDF ファイルも添付して送ってください。また、応募者履歴を提出しなければなりません。

なお、優秀成果賞に応募できる件数は原則として一人に1件に限ります。申請する対象は2012年1月1日以降取得済みのものに限定します。

### ③ 選定結果の知らせ

2015年10月10日(日)頃に選定された本人に通知。

優秀論文・成果賞名称と授賞人数(過去の授賞実績)：

- 1) 中華人民共和国駐日本大使賞 1名
- 2) 中華人民共和国駐大阪総領事賞 1名
- 3) 日本国文部科学大臣賞 1名(新規依頼中)
- 4) 京都府知事賞 1名
- 5) 大阪府知事賞 1名
- 6) 兵庫県知事賞 1名
- 7) 京都市長賞 1名
- 8) 大阪市長賞 1名
- 9) 神戸市長賞 1名
- 10) 日中友好協会会長賞 1名
- 11) 日中科学技術協会理事長賞 1名
- 12) 海尔(ハイアール)賞 1名
- 13) 華為技術賞 1名
- 14) 中国留日同学会賞 1名

報告会&優秀論文・成果賞授賞式の開催日と開催場所：

中国留日同学会「第15回留日中国人成果研究報告会&優秀論文・成果賞授賞式」は2015年11月1日午後2時に、京都大学百周年時計台記念館にて開催します。詳細につき、別途改めて案内します。

主催：中国留日同学会

共催※

京都地区中国留学生聯誼会、大阪地区中国留学生学友会、神戸地区中国留学生学友会、西日本地区中国留学生学友会、全日本中国人留学生学友会、留日中国人生命科学協会、全日本中国人博士協会、上海留日同学会・・・（一部依頼中）

後援※

中国駐日本大使館、中国駐大阪総領事館、文部科学省、京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市、日中友好協会、日中協会、欧美同学会、全日本華僑華人聯合会、西日本新華僑華人聯合会、日本中華総商会、日本関西中華總商会、日本華人教授会議、日本経済新聞社、京都新聞社、・・・（一部依頼中）

協賛※（依頼中）

※：一部確認中につき、変更される可能性があります。悪しからずご了承ください

中国留日同学会創立20周年記念 第15回留日中国人研究成果論文集投稿&優秀論文・成果賞

申込書

①氏名：

②所属（勤務先／学校名）：

③連絡方法 現住所：

TEL： Fax：

E-mail：

④留日経歴概要（200字以内）：

⑤投稿論文・成果説明題目：

全著者・発明名、所属名：

⑥専門分野：

⑦優秀論文・成果賞 応募する 応募しない（どちらかに○をつける）

⑧優秀論文・成果賞応募の場合

1) 成果特徴概要の紹介（中国語 500 字以内、日本語 800 字以内）

2) 指導教授または機関長の推薦状のご提出（必須条件ではない）

\*\*\*\*\*

送信先：中国留日同学会 第 15 回留日中国人研究成果論文集（概要集）編集委員会

[paper2015@aca.japan.org](mailto:paper2015@aca.japan.org)

~~~~~

江苏省产业技术研究院近期动向

2015 年 5 月 20 日江苏省政府举行了“支持江苏省产业技术研究院改革发展政策措施发布暨首届科技成果交易会”。省政府徐南平副省长为省产研院技术交易市场揭牌并发表讲话，省政府王志忠副秘书长发布了省政府办公厅关于支持江苏省产业技术研究院改革发展的若干政策措施（苏政办发〔2015〕49 号），省产研院欧阳平凯院长点击开通苏技 e 网络平台，省科技厅副厅长夏冰等有关方面领导出席了会议。

省政府专门为一个单位出台一份支持文件是很罕见的，充分体现了省委省政府对产业研究院发展的关心和重视，也是具体落实习近平总书记去年视察产研院的工作指示，推进科研创新体制转化的重要举措。

文件主要从科技成果转化，科研资金使用和引进海内外人才等方面对产业研究院予以支持，对于海外高层次人才和技术合作项目，可以在产业化平台，财政资金支持，工资待遇等方面给与专项支持，很多政策是产研院独有，全国没有先例。

http://www.jstv.com/c/ws/jsxsk/201505/t20150520_15765414.shtml

http://news.eastday.com/eastday/13news/auto/news/cs.j/u7ai3981509_K4.html

<http://news.jschina.com.cn/system/2015/05/20/024793695.shtml>

~~~~~

## 重庆市政府重点发展机器人产业·热切引才

重庆市政府决定把机器人产业作为该市重要的战略性新兴产业加快培育发展，为此制定了《关于推进机器人产业发展的指导意见》，提出争取到 2020 年把重庆市打造成为在国内重要、在全球有影响的机器人产业基地，实现机器人销售收入 1000 亿元。为实现此目标，市政府提出要建立机器人产业人才聚集、培育和服务体系，加快引进国内外高端人才，对符合条件的高端人才按规定给予相关待遇。详见：

<http://www.cq.gov.cn/publicinfo/web/views/Show!detail.action?sid=3674485>。

现重庆两江新区机器人产业园已吸引多个企业和科研机构入驻，重庆机器人产业初具规模，前景广阔，急需相关专家人才。热切欢迎有意愿的技术人才来重庆发展，我们将提供优厚的待遇，并根据专家的个人情况开展灵活多样的合作。

~~~~~

张家港市第四批领军人才项目评审会

为深入实施人才强市战略，提升城市产业品质，进一步加大海内外高层次人才的介绍力度，我们决定于 2015 年 11 月举行张家港市第四批领军人才项目评审会。热忱的希望贵协会能继续为张家港市举荐优秀的海外人才和项目，在此，我们表示诚挚的谢意！

本次评审采取“先申报、后落户”的工作流程。具体申报事项如下：

一、申报相关条件

1. 申报人已取得与创业项目领域相关的硕士以上学位，年龄一般不超过 55 岁；
2. 申报人应有 3 年以上在国内外知名企业、高校、科研单位及相关机构从事研发或管理等岗位工作经历，并取得比较突出业绩，来我市时间不超过两年；
3. 申报人掌握申报项目的核心技术，拥有申报项目专利的所有权或使用权；
4. 符合我市领军人才项目申报的其他条件。

二、申报评审程序及时间节点

1. 材料申报，2015 年 10 月 13 日截止

申报人填写《2015 年度江苏省张家港市领军人才创业项目计划书》（见附件 4），于截止日期前发送至 zjg330@163.com。

2. 资格初审：2015 年 10 月中旬

审核申报材料及资格。

3. 项目网评，2015 年 10 月下旬

申报材料完整，符合申报条件的项目将进入网评程序。

4. 发放面试综合评审通知，2015 年 11 月上旬

向通过项目网评的申报人发出参加面试综合评审会的邀请通知。

5. 面试综合评审会，2015 年 11 月下旬

受邀参加面试评审会的申报人（仅限申报人本人）凭规定日期内的机票（详见面评通知）、护照及出入境记录等凭证可获定额差旅费补助。

面试时间另行通知。

6. 结果公布，2015 年 12 月底之前

结果公布以后，获得张家港市领军人才资格的申报人选择张家港市创业载体，按规定注册落户后享受相关资助政策。

以上时间节点均为北京时间。

更多扶持政策信息请登录张家港领军人才网（www.330.gov.cn）查阅。

申报咨询电话：[+86-512-58679075](tel:+86-512-58679075)；

[+86-512-58173391](tel:+86-512-58173391)；

[+86-512-58173521](tel:+86-512-58173521)；

申报咨询邮箱：zjg330@163.com。

~~~~~

## 全日本中国人博士协会组团参加福建省海创周通知

为抓住中央支持福建加快发展、建设海上丝绸之路核心区、设立自贸区的重大机遇，进一步吸引海外人才来闽创新创业，促进人才与项目有效对接和落地福建，推动福建发展，福建省人力资源和社会保障厅将会同有关部门于 2015 年 10 月下旬继续举办“2015 年中国·福建海外人才创业周”活动。

## 一、活动内容

我们将根据 2015 年中国（福建）自贸区高层次人才岗位需求暨福建省高层次人才岗位需求（附件 1），围绕电子信息、石油化工、生物医药、装备制造、轻工纺织、新材料、新能源、节能环保、现代服务业、现代农业等福建重点行业发展需求，面向海外征集高层次人才和项目；同时将征集的海外人才和项目向福建省内大中型企业、高等院校、科研院所、创业园区等单位推介；经过推介和供需双方网上沟通和预对接，于 10 月下旬邀请一批有意来闽创业、工作或开展智力服务且对接意向明确的海外留学人才，在福州、厦门、泉州等地召开人才与项目专场对接洽谈会。

在“2015 年中国·福建海外人才创业周”活动期间，还将举行以下活动：

### 1、2015 年海外留学博士与海上丝绸之路核心区建设项目对接洽谈会

围绕我省现代农业、先进制造业、能源矿产、海洋产业和金融服务业、以及跨境电子商务、跨境物流信息平台、境外营销网络和大宗商品交易市场建设，征集海外高层次人才和项目，邀请一批海外留学博士到我省海上丝绸之路沿海节点城市与相关企事业单位、高校、园区开展对接洽谈，促进人才项目落地，进一步推动与东盟的人才与项目合作，服务海上丝绸之路核心区建设。

### 2、2015 年海外留学人员福建（平潭）创业项目竞赛

平潭既是综合改革试验区，也是自贸区，今年的海外留学人员福建创业项目竞赛将在平潭举办。竞赛活动内容包括：一是发布我省企事业单位的人才、技术需求信息，通过海外人才联络处（工作站）、海外留学人员社团组织留学人员提交创业项目计划书参赛；二是面向省内有关科技园、创业园、软件园以及企事业单位推介参赛创业项目，园区或企业与海外留学人员通过网上沟通达成对接意向；三是根据对接意向，邀请园区负责人、风险投资机构、专家等组成评审委员会，对已有对接意向的创业项目计划书进行初步评审，确定参加创业项目答辩的名单；四是邀请入围的海外留学人员来闽参加创业项目答辩会，由评审委员会通过答辩对参赛项目进行评审，评定竞赛获奖名单；五是颁奖并举行推介、对接洽谈会。

在本次创业项目竞赛活动中获奖并落地福建创业的留学人员优先入选“留学人员来闽创业启动支持计划”，重点项目、优秀项目分别一次性给予 50 万元、20 万元的资金支持，并推荐参加“福建省引进高层次创新创业人才”的评选。落地平潭创业的，将在创业用房、税收等方面给予优惠。

## 二、参会补助

日本报名参会每人补助 3000 元人民币，并负责海外留学人才在闽活动期间的食宿交通等相关费用。

## 三、组织方式及参加人员



全日本中国人博士协会组织留日高层次人才代表团进行考察访问。

#### 四、报名方式

请于8月15日前将填报完整的《2015年中国·福建海外人才创业周报名表》，详细填写并提交此表。

如参加“2015年海外留学博士与海上丝绸之路核心区建设项目对接洽谈会”请在《报名表》中标明。在提交《报名表》时应随附海外留学博士学位证书扫描件、教育部留学服务中心出具的国外学历学位认证书扫描件（JPEG或JPG格式）。

有意参加创业项目竞赛的海外人才同时提交《2015年海外留学人员福建创业项目计划书》。收集好材料后，回复至协会事务局邮箱：

[office@casej.jp](mailto:office@casej.jp)。

~~~~~

福建商业高等专科学校招聘信息

福建商专在福建省政府和福建省教育厅的大力支持与协助下，已经顺利完成了升本条件的审核，目前全校上下正紧张地投入8月底中国教育部的升本条件审核中，因为升本成为福建商学院的原因，袁新文校长委托全日本中国人博士协会向日本招收愿意回国为福建商学院教学科研奉献的博士们，具体条件可以参照福建商业高等专科学校官方网站招收信息，具体可以和事务局联系：office@casej.jp。

~~~~~

## 江苏省产业技术研究院高层次留日人才考察及合作推介会

### 通知

#### 一、推介会名称

江苏省产业技术研究院高层次留日人才考察及合作推介会

#### 二、推介会目的

引进海外高层次人才和技术，推动产研院与海外高层次人才的交流与合作，开拓海外合作新渠道，扩大省产研院在海外的知名度与影响力，打造海内外科研成果转化和产业化二次开发的平台。

#### 三、推介会宗旨

充分发挥江苏省产业研究院在体制创新和资源整合方面的独特的平台优势，突出产业研究院在人才引进和科研服务、成果转化上的优势和特色。

#### 四、时间地点

时间：拟定9月21-22日（红日子），会期2天。

地点：江苏省产业技术研究院总院及各研究所

#### 五、办会单位

江苏省产业技术研究院，江苏省产业技术研发协会

#### 四、组织方式及参加人员

由全日本中国人博士协会组织留日高层次人才代表团进行考察访问。参加活动的代表原则上要求是在海外取得一定成绩，或在海外知名大学、企业、研究院所等机构任职的中国海内外留学人员、华人专才、外籍专家等。最好拥有海外硕士及以上学位。在产业、专业领域具有独特影响力的海外人才创新创业团队。已回国创业、工作的留学人员典型代表。

#### 五、获得服务

留日高层次人才代表团团员免费周到的食宿。

#### 六、国际交通费补助

除了当地食宿外，留日高层次人才代表团团员的国际交通费补助为 3000 元人民币。

## 2015 四川成都海科会报名通知

活动简称 - 2015 海科会

活动会场 - 四川省成都市

活动日期 - 2015 年 9 月 24 日 - 26 日

活动宗旨 - 汇聚海外英才，创新创业西部

主办单位 - 国务院侨办，中共四川省委，四川省人民政府，欧美同学会

承办单位 - 四川省外事侨务办，中共四川省委组织部，中共成都市委，

成都市人民政府，四川省人力资源社会保障厅，四川省科技厅

主要活动 - 2015 海科会开幕式，中国西部海外人才科技合作论坛，

金顶杯全球华侨华人创业大赛，跨国公司高管科技论坛，

千人计划专家创业论坛，引才顾问座谈会，

分场双向对接活动，分线路考察 等

提供服务 - 参会期间食宿由大会统一安排。有意参加四川各市州考察活动和项目/人才对接的，由各市州负责接待。经海科会组委会确认专业人士的参会资格后，将反馈一个参会代码并给予一定的旅费补贴。

~~~~~

创客天地 圆梦盐城

江苏省盐城市第三届高层次人才创业大赛公告

江苏盐城地处中国最具活力的长三角区域，是中国东部沿海新兴工商业城市、国家可持续发展实验区、国家创新型试点城市、中国创业之城，为大力吸引、集聚高层次人才来盐创业，决定面向全球举办第三届高层次人才创业大赛，现发布公告如下：

一、报名时间

2015年4月30日—2015年7月10日。

二、报名方式

实行网上报名，报名网站“中国沿海人才网”（<http://www.yhhr.gov.cn>），点击进入“高层次人才创业大赛”专栏。

三、奖励资助

大赛分国内、国外两个赛区，赛事分初赛和决赛两个阶段。入围决赛选手将发放参赛补贴，标准为：欧美地区1万元/人、澳洲和亚洲其他国家及港澳台地区5000元/人、国内人才2000元/人。决赛阶段将评审产生一等奖3名、二等奖5名、三等奖10名和优胜奖12名，分别给予奖金3万元、2万元、1万元和5000元；落户盐城创业的分别给予100万元、50万元、30万元和5万元资助。大赛全程有风投机构参与，优秀项目还将有机会获得风险投资及政府股权投资。（以上“元”均为人民币）

四、联系方式

请和协会事务局联系：office@casej.jp。博士协会可以推荐给盐城方面。

~~~~~

### 2015年百名海外博士江苏行活动

暑い毎日で、いかがお過ごしされているのでしょうか。さて、江蘇省から

「2015年百名海外博士江蘇行」の活動通知を受けまして、日本での

広報を依頼されたため、皆様にお知らせいたします。要点は次のようになります。

活動名称：2015年百名海外博士江蘇行  
活動期間：2015年10月末～11月初（予定）  
参加申込：添付の参加申し込み用紙を記入し、8月8日までに

博士協会事務局 [office@casej.jp](mailto:office@casej.jp)

に返送ください。江蘇省から正式の招待状を受けた方が

参加していただけます。

費用負担：活動期間中の滞在費用はすべて江蘇省側から負担し、国際旅費の

一部補助があります。

今年の「江蘇行」は江蘇省にとって2006年の1回目からちょうど10周年になりました。皆様のご参加申し込みをどうぞよろしくお願いいたします。

---

#### ■会員投稿

## 第1届北海道中国会杯・日中友好高尔夫大会成功举办

陶惠荣



7月是日本的台风季节。2015年台风11号横穿日本四国和中国地区，交通受阻，被害不断。但是7月在北海道是一年最佳的旅游观光季节。7月17日，北海道中国会和全日本华侨华人联合会主办，一般社团法人北海道高尔夫观光协会共办的第一届北海道中国会杯·日中友好高尔夫大会，在北海道苫小牧 Brooks Country Club 成功举办。来自中国天津、大连、上海的39为高尔夫爱好者和来自全日本的43名华侨华人、日中友好人士欢聚一堂，用高尔夫交流的形式，成功的开创了北海道的中日民间友好交流新形式。

7月17日，北海道苫小牧晴空万里，微风，气温25度。这样的天气在绿色森林环抱下的高尔夫球场打球，是一种无比快乐健康的享受。清晨，参会者陆续前来报道，领取了印有北海道中国会刺绣徽章纪念汗巾后，在巨大的大会签字幕布上，写下了【到此一游】的记忆留念大名。早晨7点半在北海道中国会的会旗后面合影留念后，（公社）北海道观光振兴机构会长近藤龙夫先生、北海道日中友好协会会长青木雅典先生和大会会长·北海道中国会代表田义之社长三人举行了开球仪式。彩球远飞后参赛者分内外赛场二队开始了高尔夫比赛。

以北海道华人华侨和北海道地区中日友好人士组成的北海道中国会，通过各种中日友好交流、文化交流和经济交流，为北海道居住的华侨华人的繁荣和发展尽心尽力。北海道中国会为加深北海道与中国的民间友好交流，促进当地观光产业及地区经济活跃性，利用得天独厚的夏天北海道高尔夫场地，举办第1届北海道中日友好中国会杯高尔夫大会和留学生支援活动，得到了海内外各界人士的支援和协助，中日两国高尔夫爱好者踊跃参加，后援和协赞的企业和个人也蜂拥而至。82名参加者，获得的赞助现金和产品，达85万日元，加上大家的参加费，100万日元的奖品和奖金让参会者充满了快乐交流之话题。

这次的日中友好高尔夫大会的特点是设立了留学生支援金募集内容。在内外18洞的短距离4个场地，一杆不到球洞区，【罚款200日元】。参赛的各位听说是为留学生捐款，有的一杆到球洞区，也把携带的零钱放入【罚款箱】，结果计算【罚款】时，除了百元硬币以外，还有千元纸币和百元以外的硬币。参会者为大家乐意支付罚款的行为，令人大笑不止。最后统计，这次高尔夫大会共募集到日元40170日元。

7月17日晚上6点，第一届北海道中国会杯·日中友好高尔夫大会表彰仪式和交流会兼留学生支援金捐赠仪式在札幌市的PARK宾馆举行。专业节目主持人高崎伸子宣布了大会开始。100余名参赛者和北海道中国会的会员参加了大会。

本次大会会长，北海道中国会代表，田义之社长代表主办方北海道中国会和全日本华侨华人联合会，感谢支持从中国和日本全国各地来到北海道参加高尔夫大会和晚上表彰仪式的诸位中日友好人士。田义之社长还介绍了成立一年半北海道中国会的宗旨和活动内容，目前北海道中国会的会员超过190名，成为北海道最大的华人华侨日中友好民间团体。象征着北海道的中日友好事业欣欣向荣，蓬勃发展。

（公社）北海道观光振兴机构会长近藤龙夫先生在致辞是说，中日两国是邻居，今年他带团参加在北京举办的中日友好交流大会，看到了中国的习近平主席。虽然距离有15米远，但是他感到中日两国的距离可以更近。他介绍今天的比赛场地是以前的沼泽地填土建成，拥有一流的草坪和球洞区，相信今天参加大会的各位都能体会到。他还说北海道的特产是蓝天、美味饮水

和高尔夫球场。欢迎从中国来的各位，除了来打高尔夫以外，别忘了美丽的北海道还有与高尔夫一样有魅力的美景和美味。

北海道日中友好协会会长青木雅典先生作为这次大会的名誉会长，为大会成功的举办表示高兴和祝贺。作为有 51 年历史的北海道日中友好协会会长，与中国的唐家璇中日友好协会会长交流机会甚多。自己是北海道房地产建筑公司的会长，拥有环保专利的建筑产品，最近在中国得到了注目和推广。青木会长还说，日本的文化来自中国，因此没有理由与中国吵架和不和。他认为日中友好，从民间到政府，从政治到经济，发展的不容怀疑的健康大方向。近 80 岁的青木会长，在这样高难度的球场打球，打了三个 OB，成绩是 85 洞（NET76.6）。希望明年选择更容易比赛的球场，让大家交流得更快乐。

株式会社札幌药店会长富山睦浩先生在祝干杯祝词时介绍在他的公司在札幌市中心的新开店里的产品销售额 80%来自中国大陆的游客，10%来自台湾的游客。中国有近 7%的经济增长率，日本不到 1%，日本不和中国友好，经济增长无法上去。必须和中国搞好关系，才是双方的最大的共同利益。

从中国天津、大连、上海前来参赛的代表也表达了愉悦和感谢之意。大连参赛队将队旗赠送给了北海道中国会。大家在几天的北海道高尔夫中对今天的球场最满意，感谢大会组委会的精心安排和招待。

在高尔夫表彰仪式之前，大会举行了留学生支援金捐赠仪式。中国驻札幌总领事因公务繁忙不在札幌无法出席捐赠仪式。北海道中国会运营委员长将参会者捐赠的 40170 日元【贵重的现金】转交给北海道中国会代表田义之社长。钱少情意重，短短的捐赠仪式迎来了长时间的掌声和欢笑声。

北海道中国会的运营委员长陶惠荣院长介绍了北海道中国会日中友好交流第二幕：8 月 4 日北海道中国会主办的日中友好论坛，邀请了前中国大使，现全日本的日本中国友好协会会长丹羽宇一郎先生讲演「突破危机的智慧」，由札幌大学孔子学院院长张伟雄主持，日本中国友好协会会长丹羽宇一郎先生、北海道中国会的特别顾问莫邦富、北海道中国会的代表田义之和北海道日中经济友好协会会长中田博幸一起论坛「搞活北海道经济・与中国打交道秘诀」。

精彩的表彰仪式由大会执行委员长王磊和副委员长笹村一主持。第一名的获奖者是佐藤高雄社长（GROSS76，NET70.0），获得奖金 5 万日元、优胜奖杯、高尔夫球包、札幌药店商品礼盒、夕张网纹瓜、丽佳化妆品。第二名的获奖者是三上伸一社长，获得奖金 3 万日元、高尔夫球包、札幌药店商品礼盒、三得利威士忌酒、丽佳化妆品。第三名的获奖者是来自中国的马如贤社长，获得奖金 1 万日元、札幌药店商品礼盒、三得利威士忌酒、丽佳化妆品。最好成绩奖、女性特别奖、女性最好成绩奖、最后的 BB 奖 BM 奖、第一打最远距离奖、球洞最近奖等奖项琳琅满目。最后的北海道电视台的特别奖获得者是 9 岁的参赛中国女孩，幸运奖是 17 日生日的参赛者。前 10 名的获奖者有 6 位来自中国的参赛者。11 名至 20 名中也有 5 位中国的参赛者。中国人的高尔夫水平让在日的华人华侨和日本友人大开眼界。参赛的每一个人都获得了奖品和纪念品。意外的丰厚奖品一定会迎来明年第二届大会的盛大举行。

北海道中国会の副代表（株）华樱国际服务的于洪志社长，白综合法律事務所所长白诺贝律师分别致辞感谢所有参加高尔夫大会和交流会贵宾来客的支持，感谢为这次大会成功举办尽心尽力的运营委员会每一位。俗话说的好，众人拾柴火焰高。希望理解加深中日交流的重要意义且对共同发展北海道经济与华人商圈互动感兴趣的企业及个人，明年积极报名参加比赛和恳谈会，借此良机实现宣传与信息共享，并肩把握商机，达成共赢！

村松律师事务所所长村松弘康先生祝闭会致辞。他建议用日本寿司店沿用的关店仪式【三击掌】结束交流会。第一击掌为本次高尔夫大会的圆满成功，第二击掌为北海道中国会的壮大发展，日中友好的不断改善，第三击掌为在座的各位健康和繁荣，于是一声令下，【啪啪啪 啪啪啪 啪啪啪 啪】连续三次，响亮的掌声，明快的节奏，将第一届北海道中国会杯・日中友好高尔夫大会表彰仪式和交流会兼留学生支援金捐赠仪式画上了金色的圆圈。

在交流会上，组委会还为大家推荐了北海道中国会特别顾问莫邦富的新作【新华侨 40 年的履历书 莫谈日本 只因有情】，并赠发了【习近平论国政运营】和日本最大中文报纸【中文导报】。

第一届北海道中国会杯・日中友好高尔夫大会协赞企业

CIE 株式会社・白総合法律事務所・株式会社華桜国際サービス・陶氏診療院・株式会社玄米酵素・トータル北海道株式会社・大高酵素株式会社・株式会社サッポロドラッグストア・お土産の神威一免税店・札幌通運株式会社・キャリアバンク株式会社・株式会社桐越・株式会社晋南貿易・禅株式会社・株式会社財界さっぽろ・北海道テレビ・ブルックスゴルフクラブ・ハッピーバレーゴルフクラブ・北のたまゆら・株式会社興栄パートナー・グリーンピア大沼・株式会社わたく堂・村松弁護士事務所・由仁地域開発株式会社・株式会社プレミアム北海道・香港物産株式会社・中華料理京花楼・CHINESE SNACK 成都・Chinese Snack 羅夢

第一届北海道中国会杯・日中友好高尔夫大会协赞个人：

青木雅典 白石富喜太 渋江 強 鈴木国夫

第一届北海道中国会杯・日中友好高尔夫大会后援单位：

北海道・札幌市・中華人民共和国駐札幌総領事館・（公社）北海道観光振興機構・北海道中小企業家同友・（社）北海道日中経済友好協会・北海道日中友好協会・（公財）札幌国際プラザ・NPO 北海道活性化センターTACTICS・中国南方航空・中国東方航空・中国国際航空・莫邦富事務所・中文導報社・日本龍之昇中文台・日本江蘇発展促進会・北京同郷会・中国・四国地区華僑華人總會・岡山県華僑華人總會・日本華僑華人婦人联合会・在日中国弁護士連合会・中日咖啡館合同会社 C J C a f e ・在日華人女性交流会・全日本中国人博士協会・在日天津同郷会

~~~~~  
■その他

会員状況

事務局

今日現在までに、今期の新入会員数は+2名です。合計 548名が入会しています。

~~~~~  
投稿募集

協会のメルマガが隔月1期を発行しています。会員には、ご自分の研究紹介、感想、雑談、思い出、提案などがあれば、どんなささやかなことでも構いませんので、皆さんからのご投稿をお待ちしております。

連絡先：メルマガ編集委員会 [mailmag@casej.jp](mailto:mailmag@casej.jp)

~~~~~  
メルマガ編集部の募集

メルマガは我が協会内の情報誌で、全ての会員のご参与を期待しております。メルマガは隔月一回発行し、今のところは4人の編集者が分担して編集・校正を行い、作業自体はそれほど複雑ではないです。我が協会を活性化させるため、有志の方にはぜひご応募頂ければ、と思います。一緒に博士協会を盛り上げましょう！ご応募をお待ちしております。

応募先：メルマガ編集部 mailmag@casej.jp

~~~~~  
事務局からのお願い

転職や就職などでメールアドレスの変更が発生した場合には、ぜひ事務局あて ([office@casej.jp](mailto:office@casej.jp)) にご一報ください。

=====

本期編集担当：陶恵栄

校正：事務局

配 信 元 ： 全日本中国人博士協会事務局 [office@casej.jp](mailto:office@casej.jp)

<http://www.casej.jp>

Copyright (c) 2015 全日本中国人博士協会 All rights reserved.

=====

メルマガ編集部

部長

康喜軍 (編集担当)

副部長

陶恵栄 (編集担当)

郭 陽 (編集担当)

孫蓮花 (編集担当)

事務局 (校正・発行担当)

=====